活動状況のお知らせ

6月　活動報告		
5	金	定例会（あかりデイ）
6	土	リーダー研修（サポートちた）
7	日	アイアンマンボランティア
8	月	企画会議・定例会（きらりデイ）
		食事定例会（あかりデイ）
9	火	リレーションシップ（包括）
10	水	20周年実行委員会①
		担当者会（訪問）
12	金	市民協働会議（市）
15	月	きらり避難訓練
17	水	波の音との打ち合わせ
18	木	定例会（傾聴）・認知症カフェ（市）
19	金	運営委員会・鬼中生3名（あかり・きらり）
25	木	きらり麻雀大会・消防点検
29	月	ケアラーのつどい
30	火	つつじが丘コミニティ20名来訪

7月　活動報告		
3	金	企画会議・デイ定例会・鬼中生3名（あかりデイ）
4	土	リーダー研修（サポートちた）
6	月	定例会（きらりデイ）
8	水	20周年実行委員会②・感謝まつり実行委①
10	金	市民協働会議（市）
13	月	食事定例会（あかりデイ）
15	水	波の音との打ち合わせ
16	木	定例会（傾聴）・認知症カフェ（市）
18	土	ねんどであそぼ
19	日	自主研修会（デイ）
22	水	介護保険指定事業者講習
23	木	中学生ボラ2名（あかりデイ）
27	月	サポートちた理事会・きらり会議
		中学生ボラ3名（あかりデイ）
28	火	中学生ボラ2名（あかりデイ）
29	水	中学生ボラ3名（きらりデイ）
30	木	中学生ボラ2名（あかりデイ）
31	金	中学生ボラ２名（あかりデイ）



			6月	7月
たすけあい	在宅・子育て	活動時間	１２５	１１１
		利用者数	３２	２５
	移　動	活動時間	１４７	１３２
		利用者数	４１	４０
介護保険	訪問介護	利用時間	６４７	６６７
		利用者数	９０	８９
	居宅介護支援	利用者数	７６	７８
	あかり	利用者延数	２００	２１４
	きらり	利用者延数	２１３	２１３
障害福祉等サービス		利用時間	２２３	１５２
		利用者数	２９	３１
地域交流	おいで屋	参加人数	１３９	１７０
	きらり	参加人数	８５１	６７０
	傾聴ボラ	利用者数	４７	４６

会員数	（８月２８日現在）
正会員	９６名
賛助会員	１２２名+３団体
利用会員	７６名
合　計	２９４名＋３団体

賛 助 会 員（8月25日現在）

古川智子 ・ 岸田文子 ・ 鈴木恵子
山本裕喜 ・ 竹内志き ・ 加藤紀代
岩島禮子 ・ 中村和子 ・ 井上富士子
しろやま ・ さざんかの丘・むらさき野苑

ありがとうございます。
みなさまの温かいご支援が
あかりを支えます。
これからもどうぞよろしく
お願いいたします。

ご寄附をありがとうございました

今回はさをり織りの機（はた）もいただきました。　皆様のご厚意にいつも感謝しております。
大切に使わせて頂きます、ありがとうございました。

発　行
常滑市塩田町 2-135
特定非営利活動法人
あ　か　り
TEL/３５－４１８５
FAX/３５－６８６２
http://akari-npo.jp/

2015年8月
80号

あかり

夏休み、子どもたちと・・・

夏休みです。７月19日、今年もたかはしさだこ先生指導のもと、こども陶芸教室“ねんどであそぼ”を開催し、５０名ほどの参加者で大賑わいの教室となりました。おじいちゃんやおばあちゃん、それにお父さん、お母さんの参加もあり、もしかしたら子供たちより大人の方が楽しんだ教室だったかもしれません。
一所懸命に作った作品は講師のたかはしさんに丁寧に一つずつ窯入れされ焼きあがります。
焼かれた作品は８月１８日から２１日までの間おいで屋に置かれ、その後、持ち主に引き取られました。
焼きあがった作品は今年の夏の思い出の一つとなって、いつまでも残ることでしょう。






お父さんやおじいちゃんと一緒に何つくる？



説明中のたかはし先生

夏のきらり教室は理科教室とパン教室を行いました。８月２日、理科教室では今年も磯村充利先生に指導をお願いし“じしゃくとでんちでうごくおもちゃを作ろう”と“ストローぶえを作ろう”を行ないました。
電池と磁石で動くおもちゃ作りということだが、なかなか思うように行かなかったことが先生のちょっとした手伝いで面白いように動き出す。ストローの笛も初めは鳴らなかったものが…、こちらも、さすがに先生。
先生の小さな手助けはとっても大きかった。親たちも興奮しておりました。
パン教室では定員いっぱいの応募者がありました。今回、２種類のパンを焼きました。１種類は１次発酵まではこちらで済ませておき、それを自分たちで成型しました。それが、次の発酵で大きくなったときには感激の声が上がり、焼きあがったときにはまたまた感激の声が。
大きな声で「おいしい！」が聞こえたとき、今度はスタッフが感激しました。





真剣に取り組む理科教室の様子





パン教室は大賑わいでした

きらり 9月10月 催し物ご案内

☆ティールームギャラリー　《水・土・日・祝日休み／9:30～16:00までオープン》

中美会　水彩画展　　8月31日(月)～9月25日(金)
岩元洋之心　油絵展　“日々のカタチ”　　9月28日(月)～10月30日(金)

☆きらり教室　優しい書/60からの手習い　　10/6,20、11/17、12/1,15（火、5回）
講師　平野　まこと氏　　参加費１回につき６６０円

◎傾聴講座　よい聴き手とは　　10月4日(日)　9:30～12:30　（無料）
講師　宇都宮　みのり氏(愛知県立大学　教授)　場所　街かどサロン　きらりデイルーム

問い合わせ先；ＮＰＯ法人あかり　　ＴＥＬ；３５－４１８９

夏のきらりとあかりの、デイ

夏休みは毎年恒例になりましたが、中学生たちがデイサービスにボランティアに来てくれます。
孫のようなボランティアさんと一緒にゲームをしたりお話をしたり、いつもとちょっと違う雰囲気が新鮮です。
スカーフの写真では、頂き物の白生地を輪ゴムできつく縛り、絞り染めをしました。みんな、なんとなく華やいで、よく似合っていました。
「夏だから…」とこども園から竹を借りてきて、ランチに流しそうめんもしました。
「土用だから…」と沢山の紫蘇で梅を沢山、干しました。
「夏休みだから…」と手品師さんと小さな手品師さんも加わり、和やかに手品を拝見です。
夏休みでなくてもボランティアさんは沢山来てくださいます。この日は三味線を楽しみました。
利用者さんも三味線を披露、みんなで“斉太郎節”を歌いました。
きらりのデイサービスは短時間デイ（10:15～13:30）ですけど中身はとっても濃いのです。












デイハウスあかりでは時々空港へ見学に出かけます。電車に乗って、動く歩道を車椅子で体験し、飛行機の飛び立つところもみんなで見ました。
昔取った杵柄か、梅干を漬けることはお手の物。あちらのデイもこちらのデイも１年分を漬けます。
夏休みにはこちらも、中学生がボランティアに来てくれます。一緒にいろいろなゲームを体験したりお話をしたり、ちょっとしたお手伝いや、心太（ところてん）を突いてサービスもしてくれました。
こども園の園児たちの訪問も恒例ですが、みんなが楽しみにしていることの一つ。ふわふわの手との握手はうれしいことです。
デイの前の小さな場所で、お花と一緒にトマトも収穫。大きな赤いトマトが沢山採れました。

















うれしかった声援

９月１日は防災の日。ですが、デイハウスあかりでは火災と地震の避難訓練を８月と１１月頃、年２回を年間行事として行っています。
しかし、今年１月17日に開催した相川祐里奈氏の「避難弱者」の講演を聴いた私たちは、地震が起き、津波が発生した時に車が使えない状況での訓練の必要性を感じ、車以外の方法を探したとき、パンクしないタイヤで大人３名まで乗車できる災害用折りたたみ式リヤカーがあることを知り、購入しました。そして、デイサービスの職員だけで、リヤカーに乗り、車いすの利用者にもなって、車以外の避難訓練を５月23日（日）試みました。
みんなでリヤカー組み立ての練習後、リヤカー３名・車いす２名の合計５名の利用者（となった職員）をあかりから東へ約1.2ｋに位置し、海抜10m以上の高さがある避難指定場所の西浦北小学校まで誘導しました。
避難ルート上にあるこいえ内科周辺の坂道をリヤカーや車イスで上るのはとても大変で、交代しながらも全員が汗を流しながら、『避難訓練実施中デイハウスあかり』と大きく書かれたプレートを首から下げて歩いていると「暑いのに大変だね～」の住民の方が声をかけてくれるのです。
いつもの避難訓練は敷地内であったり車を使っていたため、住民の方に知っていただく機会は殆どありませんでしたが、今後、万が一、大地震等の災害が起き、避難しようとした時に地域の方とお互い協力し合い、私たち事業所を含んだ多くの人が上手く避難できるような活動になるようにしていきたいと思っていました。今回、避難訓練の実施を知ってもらえ、また、応援してもらえたことがとても嬉しく、今回の大きな成果だと思いました。
終了後、この避難方法にも課題が見え、毎日の利用者さんの状況に合わせていろいろなケースを検討中です。
また、避難後、生活の防災用品の不足に注目し、車両に防災用品を載せることを決めました。防災用品は、全車両への完備はまだできていませんが、防災用品の補充の見直しもしながら、早急に準備していくことにしています。
今回の訓練では地域とのつながりを実感し、お互いに助け合いながら、みんなで力を合わせて困難を乗り切っていけるお手伝いができたらと、痛切に感じました。


折りたたんであるリヤカーを広げます


僅かな坂も大変、を実感


まるで祭りの山車を動かすように…

パニック時にこんな散歩のように行けるわけもなし…




疲れが大きくなってきます


大きなカードを首から下げて…

デイハウスあかり　生活相談員　永田 鉄男